公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2024
11
November

「此花」引札〈酒の広告〉（会津酒造博物館蔵）

今月の Pick up! ピックアップ

ふくしまの酒造り

―酒を醸し和を醸す―

世界に誇る福島の日本酒 その歴史と文化をたどる

〈左〉ごんぶり（会津酒造博物館蔵）

〈右〉こうじぶた（県立博物館蔵）

県立博物館初となる「酒」をテーマにした企画展。「酒と信仰」「酒造りの技術と道具」「酒どころ・ふくしまの歩み」「酒蔵と地域」の４章構成で、酒造用具や酒器、絵図のほか、近世から近代にかけての歴史資料など約 250 点を展示。神社で行われる「どぶろく祭り」や藩直営の酒造蔵の歴史など、会津地域を中心に栄えた本県の酒文化とその歴史を紐解く。11 月４日（月・振休）午前 10 時、午後１時 30 分からは、石川県能登半島の酒造り集団「能登杜氏」を追ったドキュメンタリー映画「一献の系譜」（2015 年、103 分）を上映（定員各回当日先着 200 名、無料）。また、下記日程で同館学芸員によるギャラリートークもある。

【会　期】 **開催中～12 月 1 日 日**

9:30 ～ 17:00(最終入館 16:30)

【会　場】会津若松市・県立博物館
【料　金】一般・大学生 1,000 円
　　高校生以下、障がい者無料
　　（障がい者手帳要提示）
【休　日】月曜日（11/4 をのぞく）11/5
【問合せ】博物館 (0242)28-6000

ギャラリートーク：11/3（日・祝）、9（土）、30（土）
12/1（日）各回とも 11:00

米とぎから貯蔵までを描いた「酒造絵」（笹正宗酒造株式会社蔵）

○ Event Schedule

イベントスケジュール 11月

※本紙に掲載した情報は、すべて10月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

《スケジュール内の記号について》

チケット販売中　県文化センターでチケット販売中
障がい者割引　障がい者無料　手帳など証明書類を要持参、主催者へ要問合せ

所 開催場所
時 開演・開始時間
休 休館日
¥ 料金
※（前売）の記載がない場合、当日券の料金（税込み）
出 出演予定者
曲 演奏予定曲
講 講師予定者
題 演題
問 お問い合わせ

音楽

11/3（日・祝）
第19回 Musik Zimmer 芸術コンサート

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス　時 14:00
¥ 一般・大学生2,300円、小・中学・高校生1,200円
未就学児膝上鑑賞無料　※車いす席は要問合せ
曲 エルガー「愛の挨拶」、ヘンデル「調子のいい鍛冶屋」ほか
問 事務局(0246)28-2246
※「世界音楽の旅シリーズ」と題し、イギリスとアメリカの曲を紹介。いわき市を中心に活動する演奏家たちによる管楽器・合唱・朗読などのほか、二胡奏者のユーヨンによるイギリス民謡もある。

11/4（月・振休）
篠笛山口流 篠笛コンサート 群青

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス　時 13:30
¥ (前売)2,000円　(当日)2,500円　※車いす席は要問合せ
出 山口千壽(山口流家元)、山口華鏡(山口流名取教授)
曲 群青、花筐　問 山口流本部(022)244-3998
※未就学児入場不可。

11/4（月・振休）
郡山市民オーケストラ 第60回定期演奏会

所 郡山市・けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）
時 14:00　¥ 一般1,000円、大学生以下500円
曲 ビゼー「歌劇『カルメン』第１・第２組曲」ほか
問 事務局(090)3127-3671
※郡山市を中心に活動するアマチュアオーケストラ。客演指揮に洗足学園音楽大学講師の木村美音子を迎える。未就学児入場不可。

11/7（木）
シマロン ジャパン・ツアー 2024

所 郡山市・けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）
時 18:30　¥《全席指定》6,500円、当日学生券2,000円
曲 オールド・ホース、ハイタカ、小さな鳥ほか
問 MIN-ON仙台(022)355-4772
※南米コロンビアの伝統音楽「ホローポ」を奏でる、同国の人気バンド。未就学児入場不可。

11/10（日）　チケット販売中
2024第１回 第九のつどいin福島

所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00　¥ 一般・大学生1,500円
高校生以下無料
問 事務局(024)558-2931
※福島市内で活動する「第九のつどい合唱団」の初演奏会。小学生から高校生で構成する「合唱のつどいアカデミー合唱団」や、福島市の「メサイア福島メモリアル合唱団」による演奏もある。

11/13（水）　チケット販売中
鳥羽一郎親子と瀬川瑛子ビッグショー

所 福島市・パルセいいざか
（福島市飯坂温泉観光会館）
時 11:00　¥《全席指定》Ｓ席6,000円
出 鳥羽一郎、木村徹二、瀬川瑛子
鷹藤美沙緒＆播磨忠勝ほか
問 ミキ・プロモーション(090)8788-3839
※未就学児入場不可。

11/15（金）
オーケストラ ファン・ヴァセナール
室内楽シリーズ2024「ヨーロッパの街角から」
～日常に楽しむ美しい響き～

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス　時 19:00
¥《全席指定》一般3,000円、25歳以下1,500円、３歳以下膝上鑑賞無料
出 赤津眞言(バロック・ヴァイオリン)
今田利(ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ、バロック・ヴァイオリン)
佐藤亜紀子(アーチリュート、バロックギター)
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
※バロック・ヴァイオリン奏者、赤津眞言率いる室内楽団。

11/16（土）
アリオス・文化教養シリーズ2024《２》
ヤノシュ・オレイニチャク
ピアノ・リサイタル＆クロストーク
ーショパンはなぜポーランドの魂なのか？

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス　時 14:00
¥《全席指定》一般2,500円、25歳以下1,500円
※車椅子席あり(要問合せ)
出 浦久俊彦(文筆家・文化芸術プロデューサー)
ヤノシュ・オレイニチャク(ピアノ)
曲 ショパン「ノクターン嬰ハ短調『レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ』」ほか
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
※第二次世界大戦からの復興にあたり、ポーランド人の支えとなったショパンの名曲を披露する。大戦からの復興と、いわき市の東日本大震災からの復興を重ね合わせたクロストークも。

11/20（水）
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ
全32曲連続演奏会 第１回《情念》

所 郡山市立中央公民館　時 18:00
¥ 3,000円　出 鐵百合奈(ピアノ)
曲 ピアノ・ソナタ第１番ヘ長調
ピアノ・ソナタ第12番変イ長調「葬送」
ピアノ・ソナタ第22番ヘ長調
ピアノ・ソナタ第23番ヘ短調「熱情」
問 郡山キャナル国際音楽祭実行委員会
(024)911-9115
※ベートーヴェン没後200周年となる2027（令和９）年までの４年間、８回の演奏会でピアノ・ソナタ全32曲を演奏するコンサートシリーズ。未就学児入場不可。

11/22（金）　チケット販売中
伊藤利英子 チェロリサイタル

所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 18:30
¥ (前売)2,000円　(当日)2,500円
曲 Ｊ.Ｓ.BACH「無伴奏チェロ組曲第３番」
Ｌ.Ｖ.BEETHOVEN「チェロソナタ第４番」
ビートルズ「イエスタデイ」ほか
問 ｆ事務所(024)524-3531
※ロンドン生まれ、福島市育ちのチェリスト。クラシックのテクニックをベースに洋楽アーティストのカバーをする「1966カルテット」のメンバー。会津若松市出身で同カルテットメンバーのピアニスト・増田みのりが伴奏で出演する。

舞台

11/2（土）
劇団四季ミュージカル
「ジーザス・クライスト＝スーパースター」
［エルサレム・バージョン］2024会津公演

所 会津若松市・會津風雅堂　時 18:30
¥《全席指定》Ｓ席10,000円、Ａ席7,500円
Ｂ席5,000円
３歳以上有料（膝上観劇不可）
問 テレビユー福島企画事業部(024)531-5111
※約2000年前のローマ帝国が支配するパレスチナを舞台に、イエス・キリストの最後の７日間を描く。３歳未満入場不可。

11/9（土）・10（日）
劇団いわき小劇場 第56回公演
「大空の虹を見ると私の心は躍る」

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 ９日13:30、18:30、10日13:30
¥ (前売)各回とも一般・大学生1,500円
小・中学・高校生500円
(当日)各回とも一般・大学生1,700円
小・中学・高校生700円
※車いす席は要問合せ
問 事務局(0246)31-0052
※1969（昭和44）年に発足した市民劇団。再開発により取り壊されることになった町はずれの小さな映画館をとりまく人間模様を描く。未就学児入場不可。詳細は裏表紙インタビューコーナーで紹介。

11/20（水）
2024年第27回「三遊亭兼好」独演会

所 会津若松市文化センター　時 18:30
¥ (前売)3,000円　(当日)3,500円
問 事務局(090)9630-0849
※会津若松市出身の落語家。講談師・一龍斎貞鏡がゲスト出演。

11/24（日）　障がい者割引
こおりやま寄席
林家たい平・蝶花楼桃花二人会

所 郡山市・けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）
時 14:00　¥《全席指定》3,200円
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
※未就学児入場不可。

注目

11/25（月）
大七酒造presents「三大テノールの夕べ」

個性豊かな３人のテノール歌手が共演

所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)　時 18:30
¥《全席指定》ＳＳ席7,000円、Ｓ席6,000円、Ａ席5,000円　※車いす席は要問合せ
曲「トゥーランドット」より"誰も寝てはならぬ"、「トスカ」より"星は光りぬ"、古関裕而メロディーほか
問 福島民報社事業局(024)531-4171
※東京のサントリーホールで開催され、好評を博したコンサートの地方初公演。ジョン・健・ヌッツォ、樋口達哉（二本松市出身）、笛田博昭の３人のテノール歌手が、オペラの名曲から古関裕而作品まで多様な楽曲を歌い上げる。ピアニスト・河原忠之と、本県ゆかりの奏者からなる室内楽アンサンブル「Ensemble Buveur」が演奏する。会場では大七酒造提供の日本酒も楽しめる。未就学児入場不可。

注目

11/16（土）・17（日）
すかがわ空想フェス2024

特撮監督・円谷英二の故郷で「空想の力」を発信

所 須賀川市民交流センターtette、須賀川市文化センター、玉川村・福島空港ほか
時 ¥ プログラムによって異なる　問 事務局ホームページ（https://kusou.m78-sukagawa.jp/contact/）
※「ウルトラマンシリーズ」をはじめとする名作を生み出し、「特撮の神様」と称される円谷英二。その偉業にちなみ、故郷・須賀川市で、“空想”をテーマにしたイベントを初開催。ウルトラマンの人気エピソードをもとに制作した新作ショー「ウルトラ６兄弟 THE LIVE　ウルトラマン編～空想は星空の彼方へ～」の初演やボーカルユニット「voyager」のライブのほか、16日（土）は造形師・品田冬樹さんらが登壇する「空想ミーティング」、17日（日）はクリエイティブ・ディレクターの箭内道彦さんをゲストに迎える「空想特撮シリーズ　ウルトラマン」上映など、様々な企画を展開する。

福島県文化センターでは毎月メールマガジンを発行しています。
登録は右の二次元コードか、https://www.fcp.or.jp/culture/mailmagazine/からお申し込みください。

最新のイベント情報は、毎月１日（１月をのぞく）・15日にホームページ（https://www.fcp.or.jp/culture/#eventplayguide）で更新。
情報紙で取り上げたもののほか、たくさんの文化情報をお届けします！

自主上映

11/16（土）
郡山市中央図書館 映画会「エデンより彼方に」

所 郡山市中央図書館　時 10:00、14:00
¥ 無料（要整理券）　問 図書館(024)923-6616
※定員各回当日先着100名。上映作品は、1950年代のアメリカ東部コネチカット州を舞台にしたメロドラマ「エデンより彼方に」（2002年、アメリカ、107分）。各上映開始時間30分前に整理券配布。

11/24（日）
白河市東文化センター 定期映画上映会 第６弾「52 ヘルツのクジラたち」

所 白河市東文化センター　時 13:30
¥（前売）800円
（当日）一般・大学生1,000円、中学・高校生800円
問 東文化センター (0248)34-1131
※2021（令和３）年本屋大賞を受賞したベストセラー小説が原作のヒューマンドラマ（2024年、135分）。対象は15歳以上。窓口、電話、FAX(0248-34-1133)、Eメール（higashibunka@cominess.jp）で予約可。

展　　示

開催中～ 11/10（日）
谷文晁と江戸絵画

所 白河市・藤田記念博物館　時 10:00 ～ 16:00
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 一般・大学生500円、高校生300円、中学生以下無料
問 博物館(0248)24-1780
※江戸絵画の巨匠・谷文晁の「離合山水図」「薔薇白閑鳥図」や、伊藤若冲・英一蝶などの多彩な江戸絵画作品約30点を展示する。

開館中～ 11/17（日）
ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード

所 喜多方市美術館　時 10:00 ～ 18:00(最終入館17:30)
休 水曜日　¥ 一般600円、65歳以上75歳未満300円
小・中学・高校生250円、75歳以上・未就学児無料
問 美術館(0241)23-0404
※2023（令和５）年にスロバキア共和国の首都ブラチスラバで開催されたコンクール「ブラチスラバ世界絵本原画展」のグランプリほか各賞の受賞作品、日本代表として参加した作家10組の絵本と原画作品を中心に紹介する。11月３日（日・祝）午後２時からは同館学芸員による作品解説も開催。

開催中～ 11/24（日）
収蔵資料展「阿武隈川流域の歴史と文化」

所 福島市・県歴史資料館
時 9:00 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 無料　問 資料館(024)534-9193
※阿武隈川とその支流域に関する絵図や古文書などの史料から、阿武隈川の豊かな流れに育まれた歴史と文化を振り返る。

開催中～ 11/24（日）
エントランス企画展「上岡遺跡のしゃがむ土偶『ぴ～ぐ～』の誕生と縄文時代後期の土偶」

所 福島市・じょーもぴあ宮畑　時 9:00 ～ 17:00
休 火曜日　¥ 無料　問 じょーもぴあ宮畑(024)573-0015
※東北地方北部で出土した、しゃがんで腕組をする屈折像土偶と、上岡遺跡（福島市）をはじめとする東北地方南部の土偶を比較し、しゃがむ土偶が誕生した理由を考察する。

開館中～ 11/24（日）　障がい者無料
郡山市制施行100周年記念×開成館建築150年記念 令和６年度企画展「THE 開成館」

所 郡山市開成館　時 10:00 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下・65歳以上無料
問 開成館(024)923-2157
※県開拓事務所として始まり、郡役所や学校、明治天皇巡幸の際の宿泊所など、様々な役割を果たした「開成館」の歴史を解説パネルと当時の写真などの資料でたどる。

開催中～ 12/1（日）　障がい者無料
ふくしまの酒造り ー酒を醸し和を醸すー

所 会津若松市・県立博物館
時 9:30 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 一般・大学生1,000円、高校生以下無料
問 博物館(0242)28-6000
※詳細は表紙参照。

酒造用具「試桶（ためおけ）」（旧天香酒造）県立博物館蔵

注目

開催中～ 11/17（日）　障がい者無料
開館15周年記念特別企画展 大山忠作襖絵展 ～成田山新勝寺襖絵「日月春秋」～

門外不出の大作が二本松市へ里帰り

所 二本松市大山忠作美術館　時 9:30 ～ 17:00(最終入館16:30)　休 会期中無休
¥ 一般・大学生800円、小・中学・高校生400円　問 美術館(0243)24-1217
※二本松市出身で、現代日本画壇の重鎮として活躍した日本画家・大山忠作。今展では、大山が約２年かけて制作した千葉県・成田山新勝寺の門外不出の襖絵《日月春秋》全28面を二本松市で初めて展示する。日輪・月輪・瀧桜（春）・楓（秋）の４面で構成され、春と秋の面では本県の自然美が舞台となった雄大な景観が描かれている。

《楓》（秋）/《日月春秋》1980年より

開催中～ 1/13（月・祝）
令和６年 国重要文化財指定記念企画展 天王山遺跡出土品のすべて

所 白河市歴史民俗資料館　時 9:00 ～ 16:00
休 月曜日(11/4、1/13をのぞく)、11/5
年末年始(12/28 ～ 1/4)
¥ 無料　問 資料館(0248)27-2310
※弥生土器の標式として認識されている「天王山式土器」をはじめとした出土品が、今年８月に国重要文化財の指定を受けたことを記念した展覧会。関連イベントとして、11月10日（日）午後１時からは白河市立図書館りぶらんにて、県文化財センター白河館まほろん館長・石川日出志氏の記念講演会を開催。

開催中～ 1/26（日）　障がい者割引
煌めくもの・心に残るきもの模様

所 郡山市・日本きもの美術館
時 10:00 ～ 17:00　休 12/29 ～ 1/3
¥ 一般1,000円、高校・大学生700円、中学生以下500円
問 美術館(024)984-3021
※大正・昭和初期の女学生の間で流行した銘仙着物を中心に、振袖やお洒落着などを展示する。

10/26（土）～ 12/15（日）
この木、なんの木？前田遺跡！ ー縄文時代の植物利用ー

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん
時 9:30 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5　¥ 無料
問 まほろん(0248)21-0700
※縄文時代の集落遺跡である川俣町・前田遺跡から出土した、石斧の柄や刈払具などの木製品、編み組製品などの木質遺物を中心に取り上げ、これらを分析するための自然科学的方法や、現段階までに明らかになっている前田遺跡における縄文時代の植物利用について紹介する。

編み組製品

10/26（土）～ 12/15（日）　障がい者無料
ポップ・アート 時代を変えた４人

所 福島市・県立美術館
時 9:30 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 一般1,500円、大学生1,000円
小・中学・高校生600円
問 美術館(024)531-5511
※ポップアートを牽引したアメリカを代表する作家・リキテンスタイン、ウォーホル、ラウシェンバーグ、ジョーンズの作品を中心に、版画、ポスター、服飾品138点を展示する。11月２日（土）午後２時からは大阪大学教授・池上裕子氏による講演会、11月30日（土）・12月７日（土）いずれも午後２時からは、同館学芸員によるギャラリートークも開催。

10/26（土）～ 12/22（日）
城と村の絵図と地図 ー三春藩絵図方資料の世界ー

所 三春町歴史民俗資料館　時 9:00 ～ 16:30(最終入館16:00)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 一般・大学生500円、小・中学・高校生250円
問 資料館(0247)62-5263
※江戸時代に描かれた三春城と城下町の主要な絵図と、明治時代初期に和算家の佐久間庸軒を中心に三春藩領内外の村々を測量・製図した三春藩絵図方の資料群から、主に現在の三春町域の村々の地図を展示。11月16日（土）、12月14日（土）いずれも午後２時からは展示解説、11月16日（土）午前10時からは同館館長による歴史講座「三春藩絵図方資料について」もある。

11/2（土）～ 12/15（日）
ニューアートシーン・イン・いわき 小森はるか＋瀬尾夏美

所 いわき市立美術館　時 9:30 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5　¥ 無料
問 美術館(0246)25-1111
※いわき市ゆかりの現代作家を紹介する展覧会シリーズ。災害に見舞われた地域で人々の語りと風景の記録を行い、対話の場を生み出す作品を制作・発表してきた映像作家・小森はるかと、画家・作家の瀬尾夏美によるアートユニットの作品展示。11月２日（土）午後２時からは作家本人によるアーティストトークも。

11/2（土）～ 12/15（日）　障がい者無料
牛腸茂雄写真展“生きている”ということの証

所 いわき市立美術館　時 9:30 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5
¥ 一般800円、高校・大学生300円、小・中学生200円
問 美術館(0246)25-1111
※ハンディキャップを抱えながらも写真集の制作に力を注いだ写真家・牛腸茂雄。写真集『日々』などに収録された作品や関連資料など約200点を展示する。11月２日（土）午前11時からは写真家・三浦和人さんと同展企画者・佐藤正子さんによる対談（定員当日先着40名）、11月10日（日）午後２時からは同館学芸員による美術講座（定員当日先着40名）もある。

11/2（土）～ 12/22（日）
第２回企画展「熱海町の歴史Ⅱ」（郡山市制施行100周年記念）

所 郡山市・大安場史跡公園　時 9:00 ～ 17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/4をのぞく)、11/5　¥ 無料
問 史跡公園(024)965-1088
※郡山市熱海町で出土した遺物を展示。

11/2（土）～ 1/26（日）
第２回企画展「馬と暮らし」

所 いわき市暮らしの伝承郷
時 9:00 ～ 16:30(最終入館16:00)　休 火曜日、12/29 ～ 1/1
¥ 一般340円、高校・大学生220円、小・中学生170円
問 伝承郷(0246)29-2230
※農耕馬や軍馬など、暮らしの中での馬の役割や馬に関する信仰などを、関連道具や写真で紹介。11月９日（土）・12月７日（土）・１月18日（土）いずれも午後１時30分からは、同館職員による展示解説もある。

11/2（土）～ 2/16（日）　障がい者無料
専称寺の文化財～僧侶の学問所～

所 いわき市勿来関文学歴史館
時 9:00 ～ 17:00(最終入館16:30)　休 第３水曜日、1/1
¥ 一般330円、中学・高校・大学生220円、小学生170円
問 歴史館(0246)65-6166
※浄土宗名越派の学問所として繁栄した専称寺（いわき市）について、県指定文化財の「専称寺文書」などをもとに、その歴史を解説。

11/9（土）・10（日）
FUKUSHIMA Next Creators Challenge 2024 会津若松展
所 会津若松市・スマートシティ AiCT
時 9日10:00～17:00、10日10:00～16:00
休 会期中無休　¥ 無料　問 県文化振興課(024)521-7154
※青少年を対象に募集した、デジタル機器を活用して制作した「メディア芸術」作品の展覧会。詳細はホームページ（ https://mediaart-fncc.com/ ）参照。

11/14（木）～11/16（土）
第 36 回 會津勤労者作品展
所 会津若松市文化センター
時 9:00～18:00(最終日は15:00まで)
休 会期中無休　¥ 無料　問 実行委員会(0242)24-0500
※会津地域在住の勤労者および退職者による写真・絵画・書の作品展。

県　外

開催中～ 12/15（日）　障がい者割引
ロートレックとベル・エポックの巴里ー 1900 年
所 秋田県立美術館
時 10:00～18:00(最終入館 17:30)
休 会期中無休
¥ 一般 1,000 円、高校・大学生 800 円
中学生以下無料
問 美術館 (018)853-8686

※「ベル・エポック（美しき時代、良き時代）」と呼ばれた 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけ活躍した、トゥールーズ＝ロートレックを中心に、ミュシャやドガ、デュフィら同時期の画家たちの作品を展示する。

開催中～ 12/15（日）　障がい者無料
古代エジプト美術館展
所 新潟県立万代島美術館
時 10:00～18:00(観覧券販売は 17:30 まで)
休 11/11、11/25、12/9
¥ 一般 1,600 円、高校・大学生 1,300 円
中学生以下無料
問 美術館 (025)290-6655

※世界的に貴重な遺物であるミイラやミイラマスク、人型木棺、神殿の石柱、ツタンカーメンの指輪をはじめ、当時の生活様式がわかるジュエリーやレリーフなど約 200 点を展示。

11/10（日）～ 1/13（月・祝）
没後 100 年 中村 彝（つね）展 ―アトリエから世界へ
所 茨城県近代美術館
時 9:30～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日 (1/13 をのぞく)、12/29～1/1
¥ 一般・大学生 1,360 円、高校生 1,130 円
小・中学生 550 円、満 70 歳以上 680 円
問 美術館 (029)243-5111

※重要文化財《エロシェンコ氏の像》（12 月 22 日（日）から 12 月 28 日（土）はパネル展示）をはじめ、大正期に活躍した洋画家・中村彝の代表作約 120 点が一堂に会する大回顧展。影響を受けたルノワールの作品や、現在の白河市出身である実業家・伊藤隆三郎らパトロンとの交流を伝える関連資料も多数展示。

講演・講座

11/9（土）
しゃがむ土偶「ぴ～ぐ～」の誕生を考える ぴ～ぐ～はなぜ上岡遺跡で生まれたのか
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）
時 13:30　¥ 無料 (要申込)
講 八木勝枝 (岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター主任文化財専門員)
阿部昭典 (千葉大学教授)
齋藤義弘 (じょーもぴあ宮畑職員)、堀江格 (同)
問 じょーもぴあ宮畑 (024)573-0015
※エントランス企画展「上岡遺跡のしゃがむ土偶『ぴ～ぐ～』の誕生と縄文時代後期の土偶」関連企画。定員先着 120 名（ 要申込 ）。電話、メール（jomopia-miyahata@bz04.plala.or.jp）にて申込受付。

11/10（日）
令和６年度 伊達市歴史文化講演会「つながる松前と伊達の歴史」
所 伊達市立梁川小学校　時 13:00　¥ 無料 (要申込)
講 須田博行 (伊達市長)、若佐智弘 (松前市長)
佐藤雄生 (松前町教育委員会事務局文化社会教育課学芸員)
阿部俊夫 (伊達市保原歴史文化資料館学芸員)
問 伊達市保原歴史文化資料館 (024)575-1615
※定員先着 150 名（ 要申込 ）。姉妹都市である伊達市と北海道松前町のつながりとこれまでの歴史についての講演会。伊達市の須田博行市長、松前町の若佐智弘町長によるパネルディスカッションも開催。電話またはチラシに記載の二次元コードにて申込受付。

11/30（土）
講演会「前田遺跡出土木製品の樹種同定」「前田遺跡を掘る」
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん　時 11:00　¥ 無料
講 能城修一 (明治大学黒耀石研究センター)
中野幸大 (県文化振興財団遺跡調査部)
問 まほろん (0248)21-0700
※企画展「この木、なんの木？前田遺跡！―縄文時代の植物利用―」関連企画。定員先着 60 名（ 要申込 ）。電話または同館設置の申込用紙にて申込受付。

そ　の　他

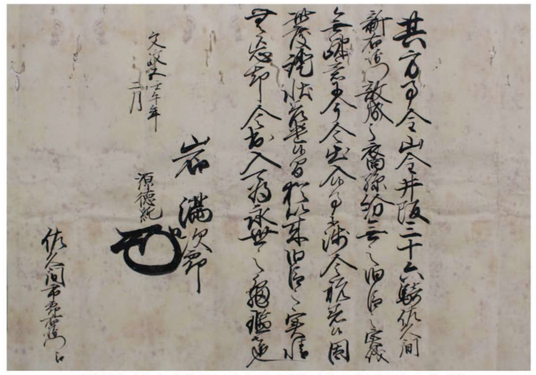
開催中～ 11/17（日）　障がい者無料
高村智恵子 レモン祭
所 二本松市智恵子の生家・智恵子記念館
時 イベントによって異なる
¥ 高校生以上 410 円、小・中学生 210 円　休 水曜日
問 智恵子記念館 (0243)22-6151
※二本松市出身の画家で紙絵作家・高村智恵子の命日にあわせ各種イベントを開催。竹灯りや和紙のランプで智恵子の生家を照らす企画のほか、生家２階公開やクイズ企画など。詳細はホームページ（ https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/bunka_sports_syo/bunka_rekishi/page009821.html ）参照。

震災からの県民の「心の復興」と福島県を担う人材育成を目的に実施する公益目的事業「未来への文化発信事業」を推進しております。
この事業への寄附をお願いします。

財団トピックス
福島県歴史資料館

福島県歴史資料館移動展「佐久間家文書からみる森山の歴史」開催中！

国見町森山地区の旧家が所蔵する「佐久間成章（さくましげあき）家文書」を展示し、佐久間家の歴史を紹介する移動展を開催しております。
本展は、2018年度に、福島市・県歴史資料館で開催した「新公開史料展」のうち、伊達郡森山村（現国見町森山）の旧家文書である「佐久間成章家文書」を取り上げ、再構成したものです。
佐久間家は、江戸時代後期に新田氏に関わる家柄と認められるとともに、神道無念流（しんとうむねんりゅう）剣術を習得し、家相と陰陽道を習得した一族。江戸時代には町内有数の名家として、多くの門下生を輩出し、家相・陰陽道の両分野で東北の中心的役割を担っていました。
今回は、県歴史資料館に収蔵されている、森山・国見地域の様子を知ることができる史料群から、新田岩松家（新田一族末裔）の旧臣であることを認める文書や、家相学の習得と伝授、土御門（つちみかど）家（安倍晴明末裔）支配下の陰陽師としての働き、神道無念流剣術への傾倒に関する史料を展示します。



〔證状〕（金山金井阪三十六騎裔孫）（佐久間成章家文書 67）

○移動展
【会　期】開催中～ 12 月８日（日）　【時　間】9:00～16:30　【休　日】月曜日 (11 月４日をのぞく)、11 月５日
【会　場】国見町・あつかし歴史館　【料　金】無料

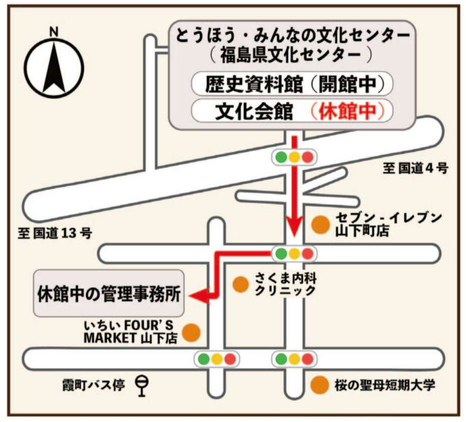
○関連講演
【会　場】国見町・大木戸ふれあいセンター　【日　時】11 月４日 (月・振休)13:30　【料　金】無料
【講　師】小野孝太郎 (県文化振興財団　歴史資料課主任学芸員)　【定　員】40 名 (申込不要)

【主　催】国見町歴史まちづくりフォーラム、公益財団法人福島県文化振興財団、国見町
【問合せ】国見町歴史まちづくりフォーラム事務局 (国見町企画調整課地域振興係内) (024)585-2967

とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）改修工事に伴う文化会館の施設利用の休止について

地震により被災した大ホール客席天井の復旧・改修や、老朽化が進む空調設備の改修のための福島県による工事に伴い、文化会館を休館し、事務所を移転しました。チケット販売などは、下記事務所で引き続き行っています。
ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

《休館中の管理事務所について》
●名　　称　とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）管理事務所
●設置場所　〒 960-8115 福島県福島市山下町１-25
※電話（024-534-9191）、FAX(024-536-1926) は変更ありません。
●営業時間　月曜～金曜日 9：00～17：00
●定 休 日　土曜・日曜・祝日と年末年始（12/28～1/4）
※歴史資料館は、移転せず現所在地（福島市春日町）で開館しております。



販売中のチケット ※ 10 月 10 日現在の情報です。

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
2024 第1回 第九のつどいin福島	福島市・ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）	11月10日(日)14:00	一般・大学生1,500円	事務局(024)558-2931
鳥羽一郎親子と瀬川瑛子 ビッグショー	福島市・パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）	11月13日(水)11:00	6,000円	ミキ・プロモーション(090)8788-3839
伊藤利英子 チェロリサイタル	福島市・ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）	11月22日(金)18:30	2,000円	f事務所(024)524-3531
立花和夫記念第11回演奏会 ラルカータ室内合奏団 冬桜コンサート	福島市・ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）	12月8日(日)14:00	3,000円	事務局(090)9036-2695 larcatahappymember@docomo.ne.jp
チェロ・アンサンブル コンサート in二本松	二本松市コンサートホール	1月19日(日)13:30	3,000円	チェロアンサンブル 二本松 公演事務局(080)1834-7539

スポットライト
— 今、注目のイベント情報

劇団いわき小劇場 第 56 回公演「大空の虹を見ると私の心は躍る」

台本の「人間」を見つめて…
対話で生み出す生活感あふれる舞台

＃３ 会長 田村 学さん ／ 副団長・演出 松本 恵美子さん

劇団いわき小劇場は、いわき市を中心に活動する市民劇団。団員は 10 代から 80 代までと年齢層が幅広く、茨城県から参加する人もいる。1969(昭和 44) 年に発足し、今年、創立 55 周年を迎えた。結成のきっかけは、高校演劇部で活動していた面々が、卒業後も演劇を続けるべく集まったことだった。

会長の田村学さんによれば、市民劇団が 50 年以上存続する例は珍しいとのこと。「演劇素材を自分たちの社会や生活、地域の問題や民話の中に求め、自分たちで理解できる生活感あふれる演劇を創造すること」を目標として共有してきたことが、今なお精力的に活動できる大きな要因だという。

田村さんは、「優れた戯曲からは『人間の生き方』を学ぶことができる」と力強く語る。

役者は台本を解釈し、登場人物の行為の裏にある感情を読み取っていく。演劇はまさに人間理解の営み。団員は、よりよい表現を求め、演じ、対話を重ねていく。

舞台通し稽古の様子

演劇の魅力を語る田村さん（右）と松本さん（左）

第 56 回公演の演出を担当する 松本恵美子さんは、「例えば苦手な人のことも、その背景や考え方、感じ方を踏まえれば理解できる」と話し、演劇を通じて自身の職場の人間関係の見方が変わったという。

今回の公演では、閉館間際の映画館に集まる人々の、おかしくも切ない人間模様を描く。団員たちは本番に向け、稽古に余念がない。

本番のステージでは、観客との対話も欠かせない。松本さんによれば、観客の反応で役者の心中に変化が生まれることがあるそうだ。今回の公演でも、会場で新たな化学反応が起こることだろう。

劇団いわき小劇場
第 56 回公演「 大空の虹を見ると私の心は躍る」

日　時：11 月 9 日（土）13:30、18:30
　　11 月 10 日（日）13:30
会　場：いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
料　金：（前売）各回とも一般・大学生 1,500 円、
　　小・中学・高校生 500 円
　　※当日 200 円増し、未就学児入場不可
問合せ：事務局 (0246)31-0052

編集・発行　公益財団法人福島県文化振興財団　〒960-8116　福島市春日町5-54　TEL(024)534-9191　FAX(024)536-1926　令和6年10月25日発行

公益財団法人
福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町 1 -25
とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）管理事務所
TEL (024) 534-9191　　FAX (024) 536-1926